

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-017

PDCA	事務事業名	青山記念武道館管理運営事業	部課等名	健康子ども部スポーツ課 施設担当	担当	豊田	
					内線等	27-6663	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション 単位施策： (2) スポーツ施設の効率的利用と整備・充実 個別施策： ③スポーツ施設の整備					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	快適なスポーツ環境の環境維持に努め、青山記念武道館の設備の充実を図り、利用者が安全にスポーツができる場所を提供する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・大道場の床修繕 ・指定管理者による施設管理の継続 ・自主事業の企画運営 ・利用者アンケートの実施					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①年間利用可能日	328	331	309	日	
		②					
		③					
		事業費	25,296	28,596	29,346	千円	
		人件費	1,687	1,972	1,723	千円	
		総事業費	26,983	30,568	31,069	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①青山記念武道館利用者1人あたりに要した経費	487.6	376.8	411.8	円/人		
	②青山記念武道館敷地面積1㎡あたりの管理及び整備コスト	2,347.7	2,659.6	2,703.2	円/㎡		
	③						
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①施設利用者数	実績値	55,343	81,130	75,438	人
			目標値	57,000	100,000	100,000	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	
	事業の評価・課題	D 施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に2日間しか開館できなかったことにより、利用者数の減少が顕著にあらわれた。利用者、指定管理者、市担当者で構成する有識者会議を実施し、利用者の意見を反映した運営をし、サービスの充実と安全・快適に施設が利用できる環境を整備した。 固定の利用者を確保しつつも、新規の利用者を獲得するため、設備等を整備していく必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 固定利用者の満足度上昇、新規利用者の獲得や施設の有効活用を図るため、指定管理者と綿密に協議をするとともに、施設を整備し利用者の増加に努める。 また、有識者会議の内容や利用者アンケートを活用し、より収益性や集客性の高い運営を実施し、市民ニーズの反映や施設の有効活用に努める。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値			単位	
		①施設利用者数	92,100			人	